

AXA35

Manual Generated: 30/04/2024 - 11:00

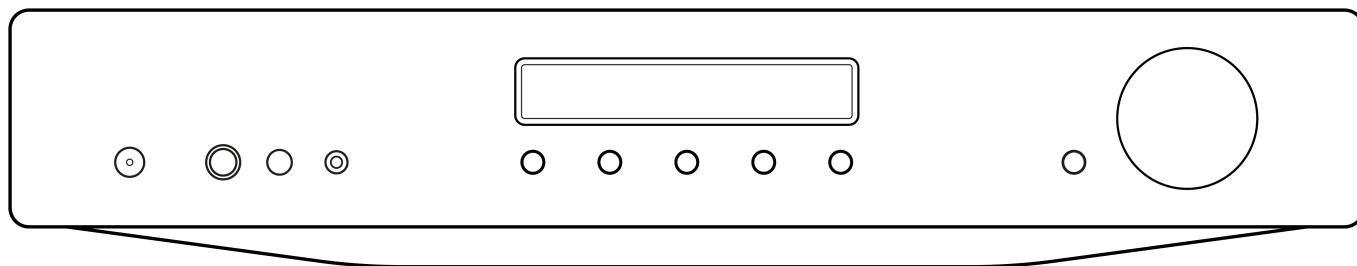


Table of Contents

| | |
|---------------------|----|
| AXA35 | 3 |
| はじめに | 3 |
| AXA35に含まれるもの | 4 |
| フロントパネルコントロール | 5 |
| リアパネル接続 | 7 |
| リモコン | 9 |
| 接続 | 10 |
| 操作方法 | 12 |
| 技術仕様 | 13 |
| トラブルシューティング | 14 |
| よくある質問 | 15 |

AXA35

Last updated: April 23, 2024 04:14. Revision #12597



ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7843

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

© Copyright Cambridge Audio Ltd

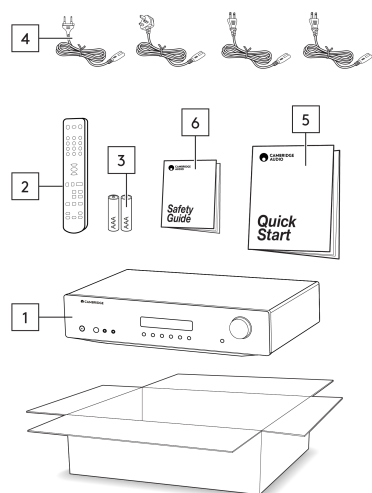
今後の製品、ソフトウェアアップデート、限定オファーに関する今後のニュースについては、必ず <で製品を登録してください。

<https://www.cambridgeaudio.com/register>

AXA35に含まれるもの

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7842

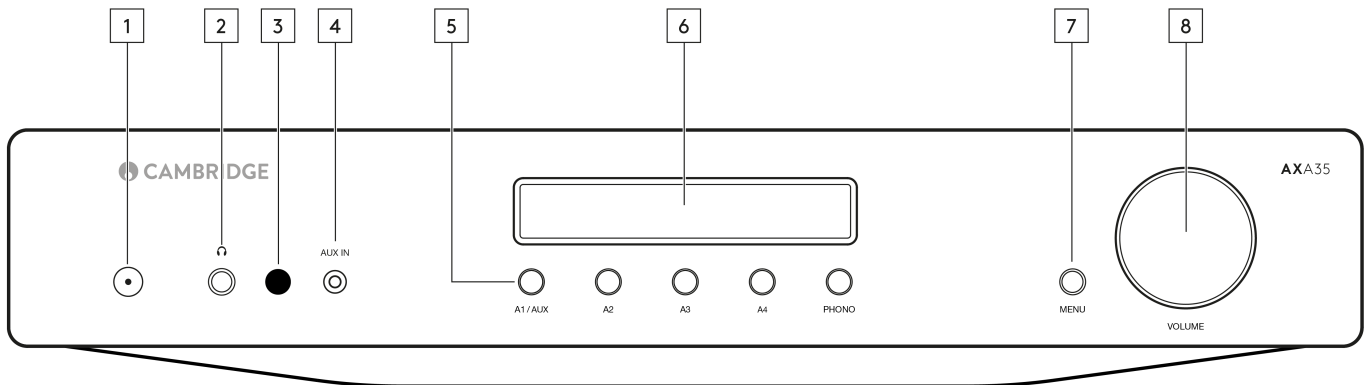
AXA35のパッケージには次のものが含まれます。



1. AXA35内蔵アンプ
2. リモコン
3. 単4電池 3×
4. 英国の電源コード(AXA35が購入された国によって異なります)。
EUの電源コード(AXA35が購入された国によって異なります)。
CUの電源コード(AXA35が購入された国によって異なります)。
日本の電源コード(AXA35が購入された国によって異なります)。
5. クイックスタートガイド
6. 安全ガイド

フロントパネルコントロール

Last updated: August 1, 2022 04:15. Revision #7841



1.電源ボタン-スタンバイモード（暗いLEDで示されます）とオン（明るいLEDで示されます）を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、消費電力は0.5W未満です。

当製品はオートスタンバイ（APD）が既定でオンの状態になっています。20分間操作しないと、ユニットは自動的にスタンバイへと切り替わります。

自動電源切断（APD：Auto Power Down）

APDのオン/オフは、設定で変更可能です。設定を変更するには、LEDが点滅するまで電源ボタンを押し続けます。以下はAPDのオン/オフの見分け方です。

スタンバイが5回点滅 - APDが無効になります。

スタンバイが10回点滅 - APDが有効になります。

注:APDの設定を変更する前に、ユニットの電源が入っていることを確認してください。

2.ヘッドフォンソケット-ステレオヘッドフォンを6.3mmのジャックプラグで接続できます。ヘッドホンインピーダンスが32Ω 600Ωのものをお使いください。

注意：ヘッドフォンを接続すると、ラウドスピーカーは自動的に消音されます。

3.赤外線センサー-付属のリモコンからIRコマンドを受信します。

リモコンとセンサーの間には、障害となるものは置かないでください。

4.AUX入力-このソース入力を使用すると、スマートフォンなどのポータブルオーディオデバイスを3.5mmステレオジャックを使用してユニットの前面に直接接続できます。

接続すると、この入力が自動的に選択されます。ステレオジャックへの接続が完了したら、A1以外の入力も選択できます。ステレオジャックに接続されている間は、ユニット正面のA1/AUXボタンはこの入力を選択します。

注意：音源をフロントパネルのAux入力に接続すると、A1入力がオーバーライドされます。フロントパネルからジャックを取り外すと、自動的にA1入力が再びオンになります。

注意：また、Auxプレーヤーの出力レベルは非常に低くなる傾向があるため、AXA35は、Aux入力を選択されている場合(および選択した場合のみ)現在の音量設定に10dBを追加することに注意してください。

5.ソースボタン(A1、A2、A3、A4、フォノ)-関連するボタンを押して、目的のオーディオソースを選択します。選択されたシグナルは、録音可能なようにRec Outソケットにもフィードされます。録音中は、入力を変更しないでください。

注意：正しい入力ボタンが選択されていない場合、アンプから音は出ません。

6.ディスプレイ-選択されている入力源、音量、トーン/バランスのレベルなどの情報を表示するのに使われます。

注意:新品のディスプレイには保護膜が付いています。よりクリアに表示するため、保護膜は剥がしてお使いください。

7.メニューボタン-バスを選択するには、このボタンを1回押します。2回押すとトレブルが、3回押すとバランスが選択されます。これらのいずれかのオプションが選択されると、音量コントローラーでレベルを調整できるようになります。

しばらくの間何も押されないと、音源が表示され、音量コントローラーの機能は音量レベルを調節するためのものに戻ります。

注意：低音、高音、バランスの設定に対する調整は、ユニットの電源を切ってから再びオンに戻ったときに保存されます。

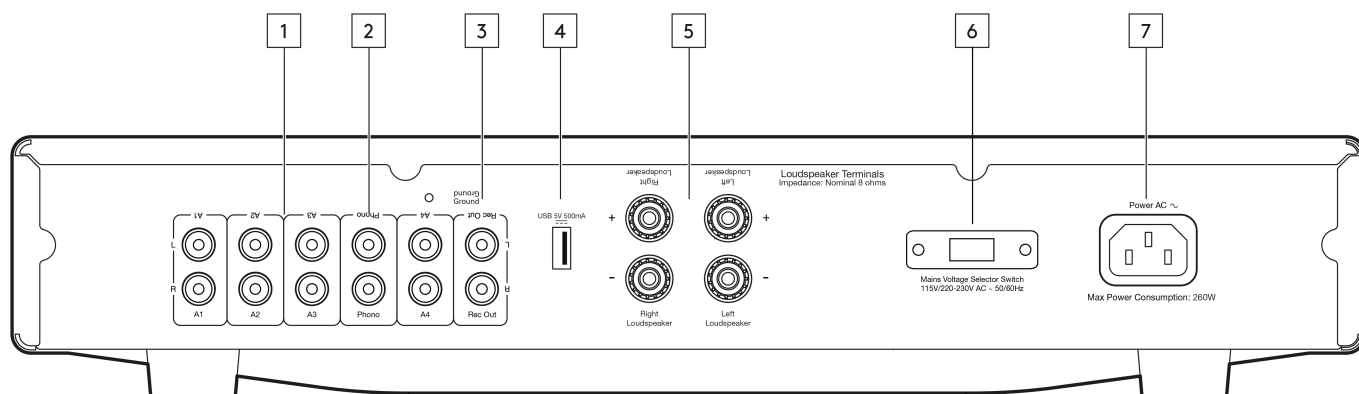
8. 音量調節-ユニットが出力するサウンドのレベルを上げたり、下げたりします。ラウドスピーカーやヘッドフォンの音量レベルを調整します。

音量コントローラーは、メニューオプションであるバス、トレブル、そしてバランスのレベルを調整するのにも使われます。

注:音量をコントロールしても、Rec Outの出力レベルは一定であり、影響を受けません。

リアパネル接続

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7840



1.オーディオ入力 (A1-A4) - CDプレイヤーのオーディオやChromecast Audioといったストリーミングデバイス (RCAフォノから受け側へのケーブルが必要です) などのラインレベルの音源装置に適した入力です。

2.フォノ入力- このユニットにはフォノステージも内蔵されています。

ムービングマグネット (MM) 型または高出力のムービングコイル (MC) 型 (出力が2~6mVで、負荷インピーダンスが30~50kΩ) のフォノカートリッジが取り付けられているレコードプレイヤーであれば再生することができます。

低出力のMC型 (出力が<1mVで、通常負荷インピーダンスが10~1,000Ω) は直接接続することはできず、対応するトランスかヘッドアンプが必要になります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

注意:レコードプレイヤーとAXA35双方のアース端子をグラウンドワイヤで接続することによって (可能であれば)、ノイズやハムを最小限に抑えることができます。

ターンテーブルまたはCRT TVは、浮遊磁界により干渉を引き起こすおそれがありますので、本機の近くに設置しないでください。

3.Rec out - CDレコーダーの録音入力やテープデッキなどの互換性のある録音機器に接続します。

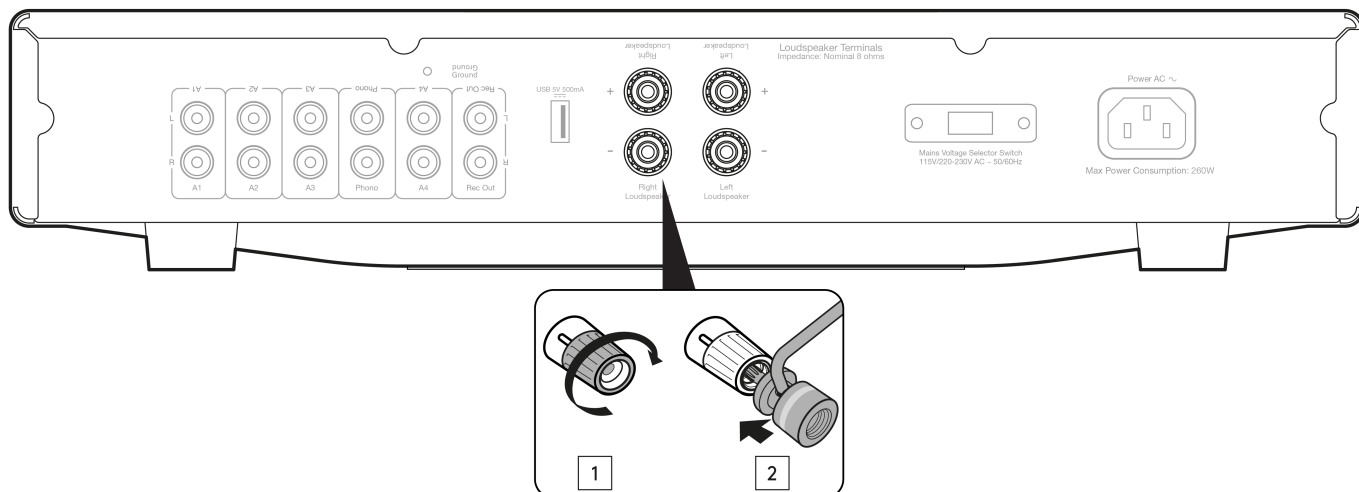
この出力は、メインユニットの音量に左右されない、一貫してハイレベルな出力を提供します。こうした理由からも、AXA35はプリアンプのみとして、またはサブウーファーとともに使用することはできません。

4.USB電源5V 500mA - このUSB接続は、スマートフォンなどのデバイスを充電するように設計されています。充電する機器にはDC5Vが必要です。

注意:入力端子ではないため、ユニットで直接オーディオを再生することはできません。

注意:このポートは、デバイスの充電と同時にソースとして使用するために使用しないでください。これは、再生中に干渉を引き起こすグラウンドループを作成するためです。

5.ラウドスピーカー端子- 注: パナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。



左チャンネルのラウドスピーカーから左のプラスとマイナスの端子に、そして右チャンネルのラウドスピーカーを右のプラスとマイナスの端子にそれぞれ接続します。

いずれの場合も、赤色端子が正の出力であり、黒端子が負の出力です。

ユニットに損傷を与えるおそれがありますので、余っているケーブルがスピーカーの出力端子に誤って接続されないように、ご注意ください。

通電が遮断されないようにラウドスピーカーの端子がしっかり締まっていることを確認してください。ネジ端子が緩んでいると音質に影響が出る可能性があります。

6.電圧選択スイッチ - サービス専用。

7.AC電源ケーブル - すべての接続が終わったら、AC電源ケーブルを適切なメインコンセントに差し込み、ユニットの電源をオンにします。

このユニットに付属の電源コードのみをお使いください。

リモコン

Last updated: August 1, 2022 04:24. Revision #11177

AXA35には、このユニット本体ならびに内蔵のチューナーを操作するためのリモコンが付属しています。さらに、一部のアイコンボタンは、一致するAXC35またはAXC25プレーヤーを操作できます。

リモコンは付属の3A電池を入れて、お使いください。

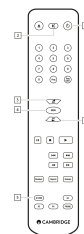
1.電源ボタン - AXC35 をオンと低電力の環境に換しいスタンバイモードに切り替えます。

2.ミュート - ユニットのオーディオをミュートします。もう一度押すと、ミュートをキャンセルできます。

3.音量 - ユニットの音量を上げたり下げたりします。バス、トレブル、そしてバランスを選択し、その設定を変更するときにも使用されます。

4.メニュー - バス、トレブル、およびバランスを切り替えます。選択したオプションのレベルを変更するには、音量コントローラーを使用します。5.ソースボタン(A1、A2、A3、A4、フォノ) - 関連するボタンを押して、目的のオーディオソースを選択します。

5.ソースボタン(A1、A2、A3、A4、フォノ) - 関連するボタンを押して、目的のオーディオソースを選択します。



接続

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7838

ラウドスピーカー

スピーカーのインピーダンスを確認してください。インピーダンスが8Ωのタイプであれば使用できます。

赤いスピーカー端子はプラス (+) で、黒いスピーカー端子はマイナス (-) です。スピーカーのコネクターそれぞれについて、極性が正しいことを確認してください。極性が間違っていると、低音の効いてない弱くて歪んだ音になることがあります。

むき出しのスピーカーケーブルで接続

スピーカーコードは、外側の絶縁体を約10mm(3/8インチ)ほど剥がして接続する準備をします。ショートの原因となるおそれがありますので、10mm以上カットしないでください。ワイヤをしっかりとよってまとめ、はみ出ているワイヤがないようにします。スピーカー端子のネジをゆるめ、スピーカーケーブルを挿入し、端子を締めてケーブルをしっかりと接続します。

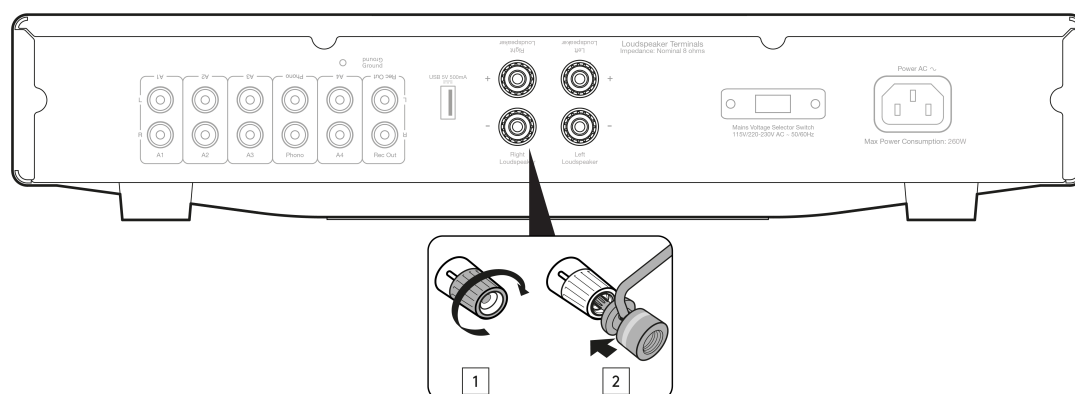
注意:すべての接続において標準的なラウドスピーカーケーブルが使われています。



バナナプラグの利用

このユニットを安全に接続し、ノイズや干渉の原因となりうるワイヤのほつれを防止するためにも、バナナプラグの使用をおすすめします。ケーブルの外側の絶縁体をむいたら、上記のとおりワイヤをしっかりとよってから、バナナプラグに接続します。スピーカー端子からダストキャップを外し、力を入れずにプラグを一番奥まで差し込みます。

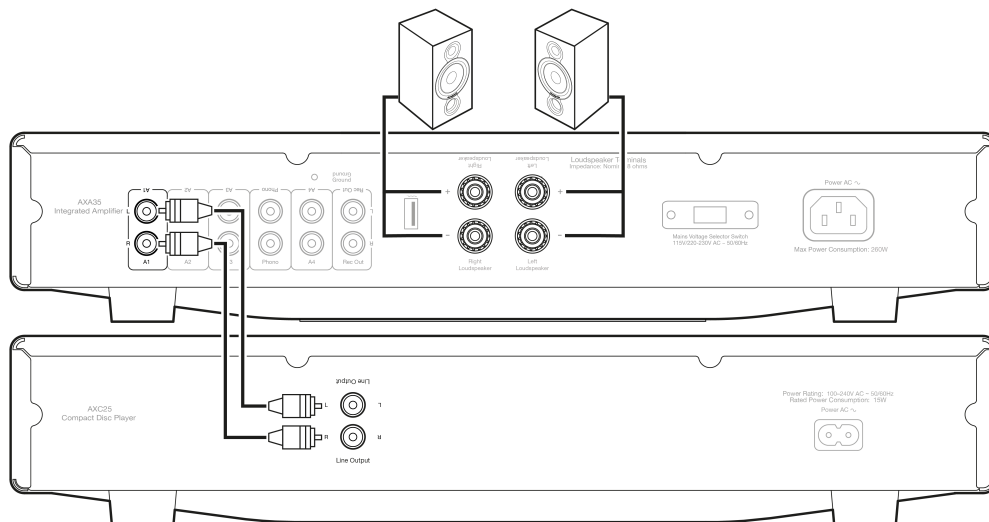
注:バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。



基本接続

任意の「ラインレベル」ソース機器をアンプ(A 1-A 4)のオーディオ入力に接続できます。

次の図は、A1アナログ入力と一対のラウドスピーカーを使用した AXR35 の CD プレーヤーへの基本的な接続を示しています。

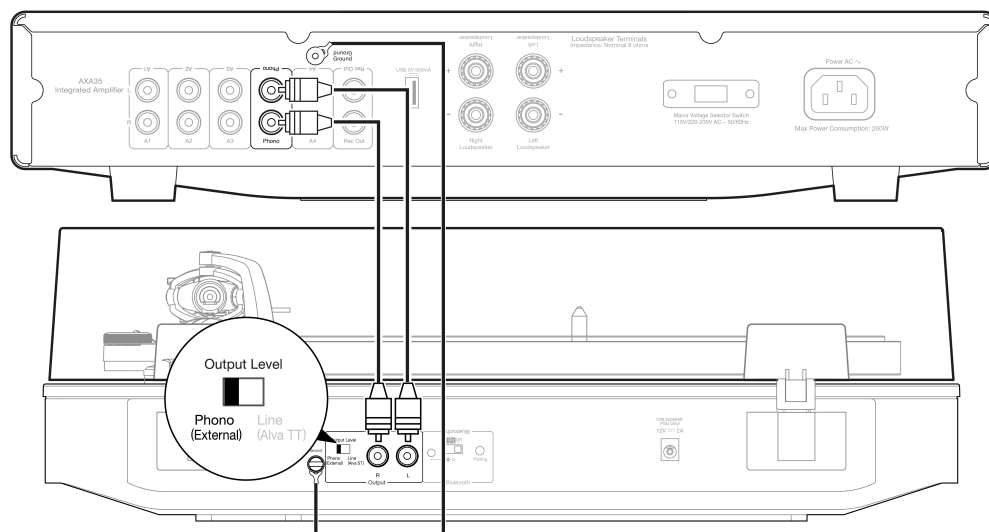


下の図は、フォノ入力を介したAXA35のターンテーブルへの基本的な接続を示しています。

本機にはフォノプリアンプ(フォノステージ)が内蔵されているため、ターンテーブルにフォノステージがない場合は、レコードプレーヤーを「フォノ」と記されたユニット背面の入力に接続することができます。

ターンテーブルにフォノステージが内蔵されている場合、または外部バージョンを使用している場合は、「フォノ」入力によって不要な歪みが発生する可能性があるため、他のアナログ入力に接続する必要があります。

注意:非フォノソースをフォノ入力に接続しないでください。



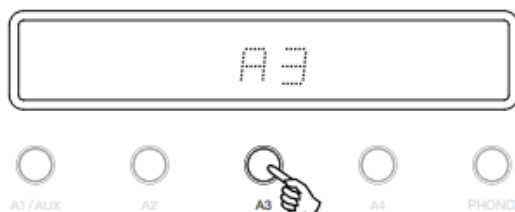
操作方法

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7837

ユニットへの接続が終わってから、ユニット正面の電源ボタンを押してAXA35を起動してください。

音源の設定

ユニット正面の音源ボタンを押して、任意の音源を選択します。または、リモコンの適切なボタンを使用することもできます。

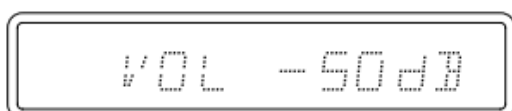


音量の調節

リモコンの音量アップまたは音量ダウンの大/小を押すか、ユニットシステムの正面にある音量コントローラーで調整します。新たに選択されたレベルが、フロントディスプレイに短時間表示されます。

音量はマイナスdBで表示され、0dBが最高レベルです。

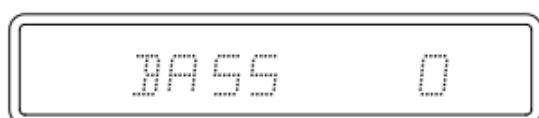
徐々に大きくなる負の数値は、ボリュームが減少していることを示します。



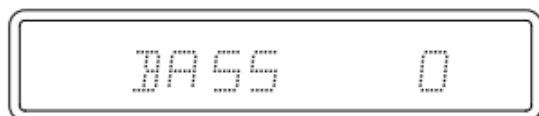
オーディオ設定の調整

バス、トレブル、およびバランスの調整は以下のように行います。

- 1.設定メニューに入るにはユニット正面またはリモコンのMENUボタンを押します。
- 2.メニューボタンを押して、任意の設定に移動します。Bass (バス)、Treble (トレブル)、そしてBalance (バランス)の順に表示されます。



- 3.バス、トレブル、またはバランスを調整するには、音量コントローラーを回転させるか、リモコンの音量ボタンを押します。



- 4.終了するには、ユニットが通常モードに戻るまで5秒間待ちます。

技術仕様

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7836

出力

35W (8Ω)

THD (unweighted)

<0.01% @ 1kHz、定格出力の80%

周波数特性 (-3dB)

5Hz ~ 50kHz

S/N比(参照1W)

>82dB (unweighted)

入力インピーダンス

47kΩ

パワーアンプ ダンピングファクター

>50

最大電力消費

260W

バス&トレブル コントローラー

シェルピング、アルティメットブースト/カット +/- 5.5dB @ 20Hzおよび20kHz

スタンバイ時消費電力

<0.5W

入力

4 x RCA、1 x 3.5mm Aux入力 (フロントパネル)

出力

スピーカー、Rec Out、USB 5V電源

外形寸法 (高さx 横幅 x 奥行き)

83 x 430 x 335mm

重量

5.6kg (12.3lbs)

トラブルシューティング

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7835

電源が入らない

- 電源コードが機器本体にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグが壁のコンセントにしっかりと差し込まれており、電源スイッチが入っていることを確認してください。
- メインプラグまたはアダプターのフューズを確認してください。
- ・ユニットの正面にある電源ボタンを確認してください。

音が出ない

- ・アンプのフロントパネルで正しい入力ソースが選択されていることを確認します。
- スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。
- ・ミュートになっていないことを確認してください。

音が歪む

- スピーカーの接続を確認してください。
- フォノ以外のソースがフォノ入力に接続されていないことを確認してください。

スピーカーからハムノイズが聞こえる

- すべてのケーブル接続、特にターンテーブルのアース/シールド接続が安全であることを確認してください。

バックグラウンドノイズや干渉がある

- ・干渉の原因となりそうな電子機器からユニットを遠ざけてください。
 - すべてのケーブル接続、特にターンテーブルのアース/シールド接続が安全であることを確認してください。
- USBポート経由でデバイスを充電していないこと□、同時にオーディオソースとして使用していないことを確認します。

リモコンが機能しない

- 電池が切れていないこと、そして正しく挿入されていることを確認してください。
- リモートセンサーを塞いでいるものがないかを確認してください。

よくある質問

Last updated: July 29, 2022 10:25. Revision #7844

AXA35のUSB接続で音が出ないのはなぜですか？

AXA35の背面にあるUSB入力は、オーディオ入力として設計されていません。これは純粋にデバイスを充電し、ストリーミングデバイスなどのコンポーネントへの電力を維持するためのものです。

BluetoothアダプターをAXA35のUSBポートに挿入して、Bluetooth機能を有効にすることはできますか？

AXA25の背面にあるUSBポートは、スマートフォンなどのデバイスの充電専用設計されています。したがって、このポートにBluetoothアダプターを挿入して、AXA35でBluetooth機能を有効にすることはできません。

AXA35で4Ωまたは6Ωのスピーカーを使用できますか？

AXA35は8Ωのスピーカーでのみ使用できると評価されており、4Ωまたは6Ωのスピーカーで使用することはお勧めしません。

AXR35を4Ωまたは6Ωのスピーカーとともに使用すると、アンプが過熱し、長期的にはユニットが損傷する可能性があります。